

主体的に学ぶ(知)

			1学期末	2学期末
1	児童	今まで学習したことや経験したことを使ったり、友達と相談したりして、自分で考えようとしている。	88.6%	94.1%
	保護者	お子さんは、今まで学習したことや経験したことを使ったり、友達と相談したりして、自分で考えようとしている。	94.4%	96.9%
	運営協議員	子供たちは、今まで学習したことや経験したことを使ったり、友達と相談したりして、自分で考えようとしている。	100.0%	100.0%
	教職員	子供たちは、今まで学習したことや経験したことを使ったり、友達と相談したりして、自分で考えようとしている。	100.0%	100.0%
2	児童	自分の考えと比べて友達の発表を聞き、友達の意見につなげて自分の考えを発表しようとしている。	85.7%	94.1%
	保護者	お子さんは、自分の考えと比べて友達の発表を聞き、友達の意見につなげて自分の考えを発表しようとしている。	86.1%	97.0%
	運営協議員	子供たちは、自分の考えと比べて友達の発表を聞き、友達の意見につなげて自分の考えを発表しようとしている。	100.0%	77.7%
	教職員	子供たちは、自分の考えと比べて友達の発表を聞き、友達の意見につなげて自分の考えを発表しようとしている。	85.7%	100.0%
3	児童	学習で「分かったこと」「できるようになったこと」や、学習で楽しみにしていることなどを、発表したり、ノートに書いたりしている。	91.1%	88.2%
	保護者	お子さんは、学習して「分かったこと」「できるようになったこと」や、学習で楽しみにしていることなどを、家庭で話している。	88.9%	93.9%
	運営協議員	子供たちは、学習して「分かったこと」「できるようになったこと」や、学習で楽しみにしていることなどを、ノートに書いたり、発表したりしている。		100.0%
	教職員	子供たちは、学習して「分かったこと」「できるようになったこと」や、学習で楽しみにしていることなどを、発表したりノートに書いたりしている。	100.0%	100.0%
4	児童	学校の先生は、自分で考えたり話し合ったりできるように、具体物や体験活動を取り入れたり、生活に生かせるような課題を取り上げたりするなど、授業の内容を考えてくれている。	97.1%	97.0%
	保護者	教職員は、子供たちが自分事として学習に取り組むことができるように、具体物や体験活動を取り入れたり、生活場面を意識した課題を設定したりするなど、授業を工夫している。	97.1%	100.0%
	運営協議員	教職員は、子供たちが自分事として学習に取り組むことができるように、具体物や体験活動を取り入れたり、生活場面を意識した課題を設定したりするなど、授業を工夫している。	100.0%	100.0%
	教職員	自分は、子供たちが自分事として学習に取り組むことができるように、具体物や体験活動を取り入れたり、生活場面を意識した課題を設定したりするなど、授業を工夫している。	83.3%	100.0%
5	児童	家の人は、自分(子供)の学習に関心を持ち、進んで学習に取り組むことができるように、助言したり、宿題に取り組む様子や内容等を見たりしてくれている。	88.5%	94.1%
	保護者	家庭では、お子さんの学習に関心を持ち、家庭学習が自ら学ぶ学習になるように、助言したり、宿題に取り組む様子・内容等を見届けたりしている。	86.1%	79.4%
	教職員	自分は、子供たちが学習に関心を持ち、自ら家庭学習に取り組むことができるように、家庭学習のしかたや内容について、助言したり、良い取り組みを紹介したりしている。	100.0%	100.0%
	教職員	保護者は、子供たちが学習に関心を持ち、家庭学習が自ら学ぶ学習になるように、助言したり、宿題に取り組む様子・内容等を見届けたりしている。	71.4%	100.0%
考察(知)		<p>○「今まで学習したこと・経験したことを使ったり、友達と相談したりしながら、自分で考える力」や、「自分の考えと比べて友達の発表を聞き、友達の意見につなげて自分の考えを発表する力」が向上した。学習課題を自分事として捉え、みんなで答えを見つけ出していく学習が身に付いてきたと考える。</p> <p>○学習の振り返りに関する児童評価がやや下がっている。今後は、子供たちが友達と意見を交わしたり、教師が考えを深めるために問い掛けたりすることで、自分とは違う意見に出会うことによる考えが深まる面白さを実感できるようにしていきたい。また、学習を継続的なものにするために、授業での振り返りを意味あるものとし、家庭学習や次時の授業につなげることができるようにしていく必要がある。</p>		
			1学期末	2学期末

自分らしく輝く(徳)

6	児童	自分や友達のよいところや頑張っていることを見付け、きらっとカードに書いたり発表したりしている。	88.3%	82.3%
	保護者	お子さんは、自分や友達のよいところや頑張っていることを、家庭で話している。	94.5%	94.4%
	運営協議員	子供たちは、自分や友達のよいところや頑張っていることを認め合っている。	100.0%	100.0%
	教職員	子供たちは、自分や友達のよいところ・頑張っていることを見付け、書いたり発表したりしている。	100.0%	100.0%
7	児童	学習や遊びなどの場で、進んで友達と関わっている。	94.1%	91.1%
	保護者	お子さんは、学習や遊びなどの場で、進んで友達と関わろうとしている。	88.9%	88.9%
	運営協議員	子供たちは、学習や遊びなどの場で、進んで友達と関わろうとしている。	100.0%	100.0%
	教職員	子供たちは、学習や遊びなどの場で、進んで友達と関わろうとしている。	100.0%	100.0%
8	児童	自分の生活をよりよくしようと、生活を見直したり、明日葉カードの目標にして粘り強く取り組んだりしている。	85.7%	91.2%
	保護者	お子さんは、自分の生活をよりよくしようと、生活を見直したり、目標に向かって粘り強く取り組んだりしている。	69.4%	88.9%
	教職員	自分は、子供たちの生活をよりよくしようと、生活を見直させたり、目標に向かって粘り強く取り組むことができるように、励まし支援したりしている。	100.0%	100.0%
9	児童	学校の先生は、できること・得意なことが増えるように励ましたり、頑張ったことやよい行いを認めたりしてくれる。	94.3%	97.0%
	保護者	教職員は、子供たちができること・得意なことを増やし、自分のよさを見付けられるように、励まし支援している。また、よいところを認めている。	97.2%	97.2%
	運営協議員	教職員は、子供たちができること・得意なことを増やし、自分のよさを見付けられるように、励まし支援している。また、よいところを認めている。	100.0%	100.0%
	教職員	自分は、子供たちができること・得意なことを増やし、自分のよさを見付けられるように、励まし支援している。また、よいところを認めている。	100.0%	100.0%
10	児童	家の人は、できること・得意なことが増えるように励ましたり、頑張ったことやよい行いを認めたりしてくれる。	94.2%	91.2%
	保護者	家庭では、お子さんができること・得意なことを増やし、自分のよさを見付けられるように、励まし支援している。また、よいところを認めている。	88.9%	88.9%
	教職員	家庭では、子供たちのできること・得意なことが増えるように、励ましたり支援したりしている。また、子供たちのよいところを認めている。	100.0%	100.0%
11	児童	自分のことが好きである。	97.1%	100.0%
考察 (徳)		<p>○「自分の生活をよりよくしようと、生活を見直したり、明日葉カードの目標にして粘り強く取り組んだりする力」が向上した。子供たちの「〇〇ができるようになりたい」「こんな自分になりたい」という思いに教師が寄り添い、目標を決め粘り強く取り組むことで、子供たちは達成感を感じていると考える。</p> <p>○「学校の先生は、できること・得意なことが増えるように励ましたり、頑張ったことやよい行いを認めたりしてくれる」と、児童・保護者ともに評価していることから、学校でのよい表れや頑張りの様子を積極的に児童・保護者に伝えることは、子供たちが自分に自信をもつことにつながっていると思われる。これは、100%の児童が「自分のことが好きである」と答えていることにもつながる。</p> <p>○一方、「自分や友達のよいところや頑張っていることを見付け、きらっとカードに書いたり発表したりしている」に関しては、評価が下がっている。ほめほめウイークに異学年の友達のよさを見つけることが難しいと感じる児童がいたことから、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、縦割り活動・異学年交流を十分実施できなかったことが影響していると考えられる。</p>		
健やかな心・体をつくる(体)			1学期末	2学期末

12	児童	毎月の挨拶のめあてを意識して、自分から進んで挨拶している。	94.1%	91.1%
	保護者	お子さんは、自分から進んで挨拶している。	88.9%	94.4%
	運営協議員	子供たちは、自分から進んで挨拶している。	88.8%	100.0%
	教職員	子供たちは、毎月の挨拶のめあてを意識して、自分から進んで挨拶している。	100.0%	100.0%
13	児童	学校では、笑顔で元気に生活している。	94.3%	93.9%
	保護者	お子さんは、笑顔で元気に学校生活を送っている。	94.4%	88.6%
	運営協議員	子供たちは、笑顔で元気に学校生活を送っている。	100.0%	100.0%
	教職員	子供たちは、笑顔で、元気に生活している。	100.0%	100.0%
14	児童	朝・昼休みや体育の授業、チャレンジ運動では、体を動かすことを楽しんだり、自分の目標をもって運動したりしている。	94.1%	88.3%
	保護者	お子さんは、体を動かすことを楽しみ、目標をもって運動に取り組んでいる。	88.9%	88.9%
	運営協議員	子供たちは、体を動かすことを楽しみ、進んで運動に取り組んでいる。	100.0%	100.0%
	教職員	子供たちは、朝・昼休みや体育の授業、チャレンジ運動では、体を動かすことを楽しんだり、自分の目標をもって運動したりしている。	100.0%	100.0%
15	児童	毎日、早ね・早起きをしたり、朝ごはんを欠かさず食べたりしている。また、メディアについての約束を守って生活している。	82.8%	97.1%
	保護者	家庭では、早ね・早起きを呼び掛けたり、朝食を食べさせたりしている。また、メディアについての約束事を決め、守らせている。	86.1%	86.1%
	教職員	子供たちは、毎日、早ね・早起きをしたり、朝ごはんを欠かさず食べたりしている。また、メディアについての約束を守って生活している。	85.7%	87.5%
考察 (体)		<p>○子供たちの心と体の健康状態を知るバロメーター「挨拶」は、2学期「あいさつカード」を活用しなくても90%の評価を維持することができた。企画委員が、毎日よい挨拶ができている子を紹介してきたことが刺激になっていると思われるが、保護者の評価が上がっていることから、学校だけでなく家庭でも挨拶する習慣が身についてきたと考える。今後は、「いつでも、どこでも、誰にでも」自然に挨拶ができるようになることを期待している。</p> <p>○1学期と比べて、外で遊ぶ児童が増えたと感じていたが、「朝・昼休みや体育の授業、チャレンジ運動では、体を動かすことを楽しんだり、自分の目標をもって運動したりしている」児童は、90%を下回った。体育の授業はもちろん、チャレンジ運動での記録更新や体力アップコンテストへ挑戦など、子供たちが目的をもって運動に取り組むことができるようにしていきたい。</p> <p>○「規則正しい生活習慣をつくる」ための「早ね」「朝ごはん」「メディア」については、すこやかチェック週間に「げんきポイント」を獲得できるように頑張っている様子が見られた。しかし、メディアとのよりよい付き合い方は、今や低学年からの大きな課題となっている。メディアの約束を守ることができるように、家庭との連携は欠かせない。</p>		
学校運営・学校体制・PTA等			1学期末	2学期末

16	保護者	学校は、お子さんのことについて相談がしやすい。	94.4%	94.5%
	教職員	自分は、子供たちにとってよき相談相手となったり、保護者の要望に適切に対応したりしている。	100.0%	100.0%
17	保護者	家庭では、便りやホームページ、その他の方法で、学校の情報を得ることができている。	94.5%	94.3%
	運営協議員	学校は、便りやホームページ、その他の方法で情報をよく発信している。	100.0%	100.0%
	教職員	自分は、学校の情報や子供の様子を、適切な方法で保護者や地域に発信している。	100.0%	87.5%
18	保護者	学校は、子供たちの安全確保のための取組を十分行っている。	97.2%	100.0%
	運営協議員	学校は、子供たちの安全確保や健康管理のための取組を十分行っている。	100.0%	100.0%
	教職員	自分は、子供の安全確保のための取組が十分にできている。	100.0%	100.0%
19	児童	午前中4時間・午後2時間授業をするより、午前中5時間・午後1時間授業の方がよい。	97.1%	97.1%
	保護者	学校は、午前中5時間授業のよさを生かして、教育活動を行っている。	91.7%	91.5%
	運営協議員	午前中5時間授業は、教育的効果がある。	85.7%	100.0%
	教職員	午前中5時間授業は、教育的効果がある。	85.7%	100.0%
20	保護者	家庭では、PTA活動テーマ「メディアの時間より家族の時間を増やそう」の活動に、積極的に取り組んでいる。	75.0%	83.3%
考察		<p>○1学期・2学期ともに、「学校は、お子さんのことについて相談がしやすい」との評価をいただいている。2学期前半は、新型コロナウイルスの影響で緊急事態宣言が出されていたこともあり、教育活動の変更・参加人数制限など、保護者の皆様には御理解・御協力をいただくこともあったが、「小規模校だからこそできる」ことも多かった。</p> <p>○午前中5時間授業には、満足している子供たちが多く、西気賀小のスタイルとして定着してきたと言える。子供たちからは、「午前中に集中して学習できる」「昼休みには遊ぶ時間がたくさんある」「放課後の自分の時間が多い」などの声が聞かれるが、教職員の出張者がいても、自習にすることなく学習時間をきちんと確保できていることを忘れてはいけない。</p> <p>○PTA活動テーマ「メディアの時間より家族の時間を増やそう」の活動に、積極的に取り組んでくださる家庭が増えた。「親子で散歩や運動をした」「ボードゲームで楽しんだ」「図書館を利用した」など、各家庭で協力していただけていることが分かる。</p>		